

新刊案内



「ぼくは」

藤野可織／作・高島純／絵

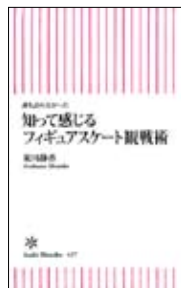


「とてもおおきなサンマのひらき」

岡田よしたか

はじめてのラカン精神分析 ----- アラン・ヴァニエ
 京都早起き案内 ----- 麻生圭子
 マルクスが日本に生まれていたら ----- 出光佐三
 コミュニティ発電所 ----- 古屋将太

ネットオーディオ入門 ----- 山之内正
 妻が椎茸だったころ ----- 中島京子
 三陸の海 ----- 津村節子
 ひとりの体で (上・下) ----- ジョン・アーヴィング



「 フィギュアスケート 」

ソチオリンピックも中盤となりました。メダルが期待されるフィギュアスケートは注目度も高く、さまざまな本が出ています。

荒川静香「知って感じるフィギュアスケート観戦術」。フィギュアスケートの試合やアイスショーをもっと面白く観戦するために知っておきたいあれこれを、フィギュアスケートで日本人唯一の五輪金メダリストが体験を基に伝授します。

分かりづらいといわれる採点方式から選手への最新情報、コーチ、振付家の実力まで、今さら聞けないフィギュアスケートの疑問が、これを読めば全て解決します。

野口美恵『フィギュアスケート 美のテクニク』。美しさの秘密や、採点競技として何が高く評価されるかといったテクニクのポイントを丁寧に解説しています。プロスケーターがモデルとなり、基礎からトップレベルの美技までコマ送りで紹介する写真も見どころです。

フィギュアスケートは、音楽も魅力の一つです。荒川静香が金メダルを獲得したプログラムで使われたのはプッチーニのオペラ『トゥーランドット』より「誰も寝てはならぬ」でした。浅田真央は今季ラフマニノフのピアノ協奏曲第二番を使っています。図書館では、「トゥーランドット」のDVDと、ラフマニノフのCDを貸し出しています。この機会に、全曲を鑑賞してみたいいかがですか。

3月の休館日

3日(月)、10日(月)、17日(月)、24日(月)、28日(金)、31日(月)

開館時間

火～金曜日 午前10時～午後7時
 土・日曜日、祝日 午前10時～午後5時
 図書館は無料でご利用いただけます。

お知らせ

3月16日(日)午後1時30分から、セラトピア土岐・和展示室で「読み聞かせフェスティバル」を開催します。図書館などで活動しているボランティアの皆さんによるパネルシアターでの「土岐の昔話」を中心に、紙芝居や手遊びなども楽しめます。ぜひ親子で遊びに来てください。